

麻しん・風しん疑い事例の検体採取の流れ

- 1 麻しん・風しん疑い例を診察した場合、直ちに、保健所に御一報ください。

電話番号 平日 22-3110 (直通)

土日祝・夜間 22-3117

※土日祝・夜間は、警備会社につながります。担当者が折り返します。

- 2 I g M抗体検査について

医療機関において検査をお願いします。

2週間後の再検査について患者に御説明願います。旅行者の場合は、保健所が管轄保健所を通して再検査を依頼します。

- 3 下記検体採取をお願いします。保健所が回収します。

1) EDTA血 2～3ml採取します。

2) 尿 5ml採取します。

3) 咽頭ぬぐい液

① 乾燥防止のため1～2ml程度の生理食塩水又はウイルス保存液（ハンクス液）をスピッツに入れておきます。

② 滅菌綿棒で咽頭を拭った後、スピッツ管に入れ、拭った綿棒の先を①のスピッツに浸します。

③ 綿棒の余った柄の部分はカットして蓋をしめます。

※咽頭用綿棒、ハンクス（保存）液、尿カップ、スピッツがない場合は、保健所にお伝えください。

- 4 検査票の記載

様式は保健所が検体回収の際に持参します。その場で御記入願います。

【連絡先】 小樽市保健所 健康増進課 感染症担当

電話：0134-22-3110

FAX：0134-22-1469

メール：kansensyo@city.otaru.lg.jp